



Title	機械器具工場の民軍転換・軍民転換に関する資料：兵庫県の事例
Author(s)	沢井, 実
Citation	大阪大学経済学. 2016, 66(2), p. 1-18
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/57766
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

【資料】

機械器具工場の民軍転換・軍民転換に関する資料*

—兵庫県の事例—

沢 井 実[†]

戦前期に民需生産を行っていた機械器具工場が戦時期になると軍需生産に動員され、敗戦とともに今度は軍需生産から民需生産への再転換を余儀なくされることはよく知られた日本経済史・経営史上の事実である。こうした民軍転換および軍民転換の実態について、社史などを調査することで個別ケースの実態にふれることはできるが、ある地域に所在する機械器具工場全体が総体としていかなる軌跡を描いたかになると、その全体像を把握することはなかなか困難である。

こうした研究史上の要請にある程度応えてくれる貴重な資料が、小論で紹介する兵庫県商工経済部編『工場現況調査』(1946年8月刊行、同年4月1日現在調査)である。同書の「はしがき」によると、調査対象は兵庫県下で「終戦時従業員五十人以上を収容して居た」工場589工場であり、同調査に対して資料を提出した工場は402工場であった。本調査では紡織、金属、機械器具、窯業、化学、その他、ガス電気の7分類が採用されているが、本資料ではそのうち機械器具工場169工場の転換動向が示されている。

本調査でいう「戦時中」とはいつを指すのか明示されていないが、戦時の労務状況では動員学徒を含んでいるため、太平洋戦争後半期で

あることは間違いない。「戦前」(これもいつを指すのか明示されていない)、「戦中」、終戦から8カ月も経ていない「現在」の3時点における主要生產品目、「戦時中」と「現在」の男女別労務者数、「転換状況」、「戦災有無状況」、1946年4月1日現在での「生産阻害状況」を兵庫県全県ベースで教えてくれる本資料を検討することによって、われわれは民軍転換、軍民転換、さらに経済復興を開始するに当たって、機械器具工場が最初に直面した諸問題の実相について知ることができる。

最初に「生産阻害事情」からみると、ほとんどの工場が指摘するのが、燃料(石炭、コークス)、資材・副資材、食糧、熟練工、事業資金の不足であり、ヒト、モノ、カネのすべての生産要素が欠乏している切迫した事情を伝えている。事業資金の調達難の一要因として1946年2月に実施された金融緊急措置令による預金封鎖の影響が大きかった。また「受注額見返ニ依ル対銀行融資方懇請中」(表1-10)といった指摘からは、この時期の銀行融資獲得の難しさがわかる。「地方銀行支店ノ行キスキ措置」(表1-13)の実態はよく分からないが、金融不如意が大きな課題の一つであった。さらに輸送状況が悪いために疎開先から機械類を搬出できないといった事態も随所でみられた。戦中に設備機械を疎開先に移送することも大きな困難を伴ったが、戦後その機械を元に戻すことはそれ以上の困難だったのである。「食糧事情ノ逼迫ニ依リ農漁等或程度ノ自給自足ヲ目シ欠勤者続

[†] 南山大学経営学部教授・大阪大学名誉教授。

* 本稿作成に際して、平成28年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究[C]、課題番号15K03576)による研究助成を受けた。

出」(表1-13)を訴える工場もあり、食糧事情の悪さが欠勤率の高さに直結していた。

戦災による被害だけでなく、1945年9月の風水害による被害も大きかった。また「治安不安定ニヨリ残業不能」(表1-3)が指摘され、「官庁間ニ於ケル梓及現物ノ奪合及事務渋滞」(表1-4)を指摘する企業もあった。陸海軍は消滅していたが、依然として「不足経済」下での資材をめぐる官庁間争奪が続いていたことをうかがわせる。さらに「外註部品入荷不調」(表1-5)、「外註品部品入手難」(表1-13)といったように生産ネットワークの寸断が物不足の困難を倍化させていたのである。

「賠償用機械設備ノ範囲未確定」(表1-7), 「賠償関係未確定ノタメ恒久企業ニ使用シ得ベキ場所、設備機械確定セサル」(表1-8)といったように賠償問題の未決着が復興の阻害要因となっていた。また賠償指定ではないが、「進駐軍宿舎及自動車修理工場トシテ接收サレ又軍政部駐在ノタメ全機械設備ノ移転ヲ命ゼラル」(表1-8), 「昭和21年1月11日連合軍第一軍團司令部ヨリLG91号ヲ以テブルドーザーミッションヲ製作中」(表1-9), 「米軍ニ接收サレ土地建物全部失ヒタリ」(表1-12)といったように占領軍による接收、生産指示によって復興の方向性を決定づけられる場合もあった。

戦時動員に関してまず目につくのは、航空機部品、船舶・舶用機関部品生産、通信機関連、兵器生産の大きな拡張である。戦前に家庭金物を作っていた金華電機工作所は戦時期に「電機、通信機部品」に転換し、戦後もラジオ部品、電機部品からスタートした(表1-1)。戦前に電気器具メーカーであった朝日工業所は戦時に「航空機用発動機部品、艦船用電気機械部品」に転換し(表1-1), 戦前に「ボルトナット、その他諸機械」生産の山陽製作所は戦時に「潜水艦部品、内燃機部品、甲造船

部品、乙種船部品」を生産し、戦後は戦前に回帰した(表1-2)。

戦前に漁船、内燃機生産を行っていた塩野鉄工所は戦時中には航空機部品を主要生産品目に加え、戦後は自動車部品を手がけた(表1-3)。日本内燃機(1941年4月に日本スピンドルと日本内燃機が合併して日本内燃機となる¹)および大阪機械製作所は戦前には有名な紡績部品、紡績機械メーカーであったが、戦時中には前者は爆弾発火装置、後者は航空機用鍛造品などを生産し、終戦になると両社とも本業に回帰した(表1-4)。金井重要工業も戦前には紡績部品、トラベラーなどの著名なメーカーであったが、戦時中は航空機部品が筆頭生産品目であり、戦後直後には本業に回帰すると同時に農機具などの生産も行った(表1-5)。戦前にスピンドルを生産していた尼崎の久々知工作所は戦時に弾丸、貯油槽などを作り、さらに戦争末期には松根油生産の急拡大²を反映して松根(乾留)釜を生産したが、戦後はスピンドルに回帰せず、主軸製品を模索中といったところであった(表1-6)。

表1-5にある尼崎精工を1938年2月に設立したのが、三菱電機の技術者、川北電気工業の工場長を経験した杉山黙一(1908年東京高等工業学校電気科卒)であった。表1-5によると同社は戦前に「信管部品、電気器具、マイクロメータ」を生産し、戦時中には「火砲部品、信管部品、弾○部品、電気高射標準具」などを生産し、46年4月現在では「電気コンロ、配線器具、電気扇、印刷機械、農耕用電動機」を生産した。戦時の従業者数は2000人を超えた、戦後もすばやく民需転換を実現して46年

¹ この間の経緯については、沢井実「桑田権平と日本スピンドル製造所」(『大阪大学経済学』第61巻第2号、2011年9月)9-10頁参照。

² 1944年10月23日の閣議決定「松根油増産要綱」では、松根油の最終目標は10万キロリットルとされ、全国に1万4070基の乾留釜が設置されることになった(鳥居民『昭和二十年-首都攻防戦と新兵器の開発-』第1部6、草思社、1996年、257頁)。

4月には700人を超える従業員がいた。創業者の息子であり、39年から同社人事課に勤務した平一（37年東京帝大文学部卒）は終戦の日に「『徵用解除や！』と喚呼の声をあげて、寮の方へ駆けて行く徵用の人たちの姿が目に焼きついている。（中略）終戦の翌日、おとなしい台湾の人が、社長室に入って、怒鳴りはじめたのに、びっくりした。この人たちの鬱屈した感情に、気づいていなかった」と回顧している³。

「撃墜したB29から分捕ってきたという電気計算機を分解して研究をはじめ、その専門職人を採用したり、航空学科を出たため失業した東大生や京大生から、復員してきた技術将校まで採用した」尼崎精工は1947年より電気扇風機生産に注力し、電気機械輸出の先陣としてAMACD印扇風機を東南アジアに輸出した。しかし50年9月のジェーン台風によって工場が倒壊し、再建は困難をきわめた。54年に同社はわが国初の「還流式」洗濯機を製造したが売れ行きは伸びず、56年に破産した⁴。

西宮の川崎電機工作所は戦前には扇風機、エンブロックを生産したが、戦時中は航空機部品を加え、戦後になると本業に回帰すると同時に小型モータや電熱器も生産した（表1-8）。土井正機製作所は戦前には粉碎機、製粉機、精白機を生産したが、戦時中は「輸送艇推進軸及付属品」などを生産し、戦後は戦前生産に回帰した（表1-9）。伊丹の鐘淵機械工業および神津製作所は戦前には紡績部品、紡績機械を生産し、戦時中は両工場とも航空機部品に転換し、戦後ふたたび本業に回帰するといった軌跡を描いた（表1-9）。戦前に纖維機械を生産した東亜金属工業は戦時中は船舶部品、航空機部品を生産し、戦後になると「抜根機」を生産した（表1-11）。

戦前にラジオを生産した山中電機は戦時中に

は通信機を生産し、1946年4月現在では「電気製塩目下準備中」であった（表1-11）。河部農機は戦前に脱穀機、除草機などを生産し、戦時中は舟艇部品、火砲部品生産に従事し、戦後は本業の農機具生産に回帰した（表1-12）。戦前に鍬などの「小農器具」を生産した八鹿鉄工は戦時中には「呉海軍工廠電気部分品」を生産し、終戦後は農機具生産に回帰する（表1-13）。

以上のいくつかの事例からもうかがえるように戦前に民需品生産を行っていた中小企業の多くは戦時中には航空機部品、船舶部品、通信機、兵器部品などの生産に動員され、戦後は戦前の本業に回帰するものと本業に回帰せずに新たに他の分野に踏み出そうとするものに別れた。両者にとって戦時生産の経験とは何だったのか。諸資源の不足が深刻化する戦時下にあって生産の現場に大きな負荷がかかり、不条理ともいるべき事態が随所で現出したことは事実であるが、一方で軍需品、航空機部品、通信機部品などの厳しい規格、要求内容を満たすために中小機械器具工場には大きな飛躍が求められた。その時の不条理と戦時合理化の二重の経験が、本業に回帰したあるいは新たな分野に転進していく諸工場をどのように変化させていったのか。この問いに答えることは民軍転換と軍民転換の経済史分析にとって大きな課題の一つである。

最後に1946年4月という経済復興が緒に着いたとはとてもいえないような終戦直後期にあって、戦前からの安定的な本業製品がある場合は別として、多くの工場が急場凌ぎの生産品目に選んだのが、農機具、電熱器、機械器具・電気器具の修理、家庭用金物などであった。燃料不足を背景にした家庭における電熱需要の高まりが、電熱器生産拡大を支えていた。しかしこうした生産、修理活動の過渡的性格は否めず、各工場が主軸となる製品を見出すまでにはまだ長い年月を要することになったのである。

³ 以上、杉山平一『わが敗走』編集工房ノア、1989年、156-157、161、274頁による。

⁴ 以上、同上書、275、279-280、287-292頁による。

表1-1 兵庫県・機械器具工場の現況調査（1946年4月1日現在）

〔出所〕 兵庫県商工經濟部編「工場現況調査」昭和21年8月。

(左) (1) 務務状況：上段：男、中段：女、下段：合計。
(2) 務務状況：上段：男、中段：女、下段：合計。
(3) 戦時中の労働者数は、動員人員を含む。

(4) 14 伊丹地区：伊丹市、川边郡。有鸟郡、武山郡（山田村庄际^{シマツ}）。明石地区：明石市、明石郡。加西郡、印南郡。
15 丹波地区：丹波市、口燃郡。有丹波郡、柏原郡。

(5)

表 1-2 兵庫県・機械器具工場の現況調査（1946年4月1日現在）

地区別	会社工場名	主要生産品目		労務状況		戦災有無程度		生産障害事情
		戦前	現在	戦時中	現在	戦災有無程度		
神戸	兵庫造船(株)	各種船舶建造修理 180 180	各種船舶建造修理	各種新船建造修理	92 0 92	92 0 76	全焼 復旧程度 70 %	各種原材料入手難 有為労務者 食料不足
三菱電機(株) 神戸製作所	120,000 120,000	水車発動機 タービン活動機 その他の同期機 船舶用直流水機 車輪用電気品 配電盤	戦車船用電装品 航空機用電装品 配電盤 船舶用直流水機 タービン発動機 その他の同期機	発電機 自動車用機 制御機 昇降機 補機(配電盤等)	6,146 2,822 8,968	1,062 182 1,244	転換歩 100 %	工具不足 資金不足
原鉄工所	300 300	船舶機器用品 農具	船舶機器用品 潜水艦	機関用品 農機	10 2 12	15 15	第一工場在 第二工場全焼	食糧不足ニテ労務者 出勤率低下 燃料不足
(株)山陽製作所	300 300	ボルトナット その他の階級機械	潜水艦部品 内燃機部品 甲板船部品 乙種船部品	建築用ボルトナット 内燃機用ボルトナット ナット	58 23 81	26 8 34	ナシ	原材料、燃料、その他一般工具 切削油、機械油、 材料燃料入手難
高畠鉄工所	300 300	航空機部品 精密捻子類	板機器部品	精密螺子類 電機部品	34 7 41	16 2 18	ナシ	機械類ガ陳開先ヨリ 持替出来ザルタメ 材料燃料入手難
渡辺工作所	200 200	潜水艦海防艦ノ内部 構造修理	潜水艦修理 戻船修理	鉄船修理 戻船修理 船艤修理	74 4 46	44 2 23	一部羅災資材不足ノ為復興ナラズ 三回戦災ノ大半焼失。 機械設備ノ機械類設置不可能	資材不足 熟練工不足
菊水造船(株)	1,000 1,000	曳船修理 静船修理	曳船修理 静船修理	曳船修理 曳船修理	270 20 290	223 7 230	三回戦災ノ大半焼失。 機械設備ノ機械類設置不可能	復旧工事ニ必要ナル 桟条及支柱並船艤木材 ノ手難
三和工業(株)	185 185	車輛部品 製品	船艤無線部品 車輛部品	営業用電熱器 電動機修理 車輛部品	45 52 97	24 5 29	全焼 現地復旧不可能ニテ 仮工場ニテ70%復旧	資材入手難 機械類設置不可能 二ヨル
山陽内燃機関製作所	1,300 1,300	船用焼玉機関	船用焼玉機関	船用焼玉機関	140 50 190	89 7 96	ナシ	主要資材特ニコーケス及 油類ノ入手難 食糧事情及練工ノ 入手難 戦時中増産ノ消耗 多キタメ
阪神内燃機工業(株) 神戸工場	6,000 6,000	陸船用デーゼル機関 焼玉機関	陸船用デーゼル機関 焼玉機関	陸船用デーゼル機関	1,001 1,092	733 50 783	完全転換済ミ	主要副資材ノ入手難 食糧事情ノ悪化ニ依 ラ
日本卷動機(株) 本社工場	4,000 2,000	船用焼玉機関 船用デーゼル機関 陸用焼玉機関	80馬力石油機械 中速ディーゼル機械 F型50馬力ディーゼル機械	船用焼玉機関 転換ノタメ工場整備中 電動機直結高速 製粉機	579 48 627	100 7 107	民需用焼玉機関ノ海務課 指定アリ	原材料不足 從業員不足
日本卷動機(株) 兵庫工場	4,000 2,000	海軍航空機用爆弾本体 金物	海軍航空機用爆弾本体 金物	製糸工事 工作機械修理 發動機製作	123 27 150	73 7 80	二階建木造事務所 一棟全焼等	鉄鋼入手困難 コーケス、石炭皆無
鎌淵工業(株) 神戸造船工場	324,000 324,000	焼玉 デイゼル レシプロ	焼玉 デイゼル レシプロ	蒸氣機 製粉 鋳造	600 130 730	118 4 122	復旧程度 85 %	燃料(特ニコーケス、石炭) 資金関係 ノ不足

表 1-3 兵庫県・機械器具工場の現況調査（1946年4月1日現在）

地区別	会社工場名	会社資本金 払込資本金	主要生産品目		戦時中 販賣状況	戦時中 販賣状況	戦災有無程度	生産障害事情
			戦前	現在				
神戸	(株)三光造船所 神戸工場	10,000 10,000	鋼製貨物船 船舶修理	鋼製貨物船及漁船 各種船舶修理	500 12 512	130 5 135	転換ヲ要セズ	80%ノ焼失 復旧工事大体完了セリ
山陽電気鉄道(株)	30,000 22,500	車輛修繕 部分品製造	車輛修繕 部分品製造	車輛修繕 部分品製造	170 30 200	280 35 315	転換ヲ要セズ	明石工場破壊焼失
(株)星野工作所	500 500				180 65 245	27 6 33		和歌山工場全焼
塙野鉄工所	190 190	漁業用船舶 内燃機	航空機部品 氣管 加工及治具 金型	自動車部品	110 60 170	16 3 19	現在進歩中 5%	被害程度 復旧程度 30%
(株)川西機械製作所 神戸工場	38,000 26,750	鐵維機械 伝送機 真空管 電球 K線管 衡器類	同左	真空管 タンクスチン 粉末 アデニン 同上成品 工具類	1,165 419 1,584	479 285 764	20~40%転換済	建物二対スル被害 60%
(株)大神鉄工所	195 195		内燃機関用部分品 船舶部分品	機関車用電気部分品 造船部分品	62 3 65	54 6 60	100%転換済	被害程度 復旧程度 100%
入江工作所	500 500		油圧作動機 航空機部品		200 70 270	13 7 20	転換計画中	10万円 100%
(株)浜田鉄工所	600 600	船舶修理	焼玉機関	船舶修理	100 5 105	90 5 95	全焼 復旧程度	80%
(資)奥井電気工作所	40 40	発電機 配電盤 電動機加工修理 陸船用電気機器 工事	発電機 配電盤 電動機加工修理 陸船用電気機器 工事	船舶修理 電動機修理 陸船用電気機器 工事	37 12 49	49 9 58	被害程度 復旧程度 20%	30% 20%
王子精機工業(株)	6,625 6,625	模型製作 プレス加工 ピッヂ ホーコン ダイカスト 諸機械修理	航空券動機部品 ピストン 惑星齒車輪 調整螺 ボンブ 油圧切削弁 フレス加工	船舶用發動機部品 調整装置突金交付 燃料ポンプ ストラップビン 紡績機械部品 諸機械修理 フレス加工	150 180 330	37 3 40	80%進歩中	資材倉庫二極焼失
(株)石原造船所	600 600	一般船舶 汽機 汽罐 内燃機 製造修理	一般船舶 陸軍舟艇 汽機 汽罐 内燃機 製造修理	一般船舶	296 5 301	118 3 122	現在戦前ノ生産種目二 復旧シ燃焼製造ハ 工場失二付廢止	新在家、島上、本社 溶接工場、全焼

表1-4 兵庫県・機械器具工場の現況調査（1946年4月1日現在）

地区別	会社工場名	公称資本金 払込資本金	戦前	戦時中	主要生産品目	現在	労務状況		転換状況	戦災有無程度	生産障害事情
							戦時中	現在			
神戸	(資)東亜精機工作所	330 330	航空機部品 高尾弁等 多種類生産二つ記載不能	船舶部品 航空機部品 多種類生産二つ記載不能	客点灯用電機 客車冷房装置	80 5 85	73 5 78	進捗率 95 %	一部ノ分工場ニ被害アリ	高物価三品賃給上ノ施策 燃料不足 金融上ノ障害	
中村鉄工所		300 300	機械部品 各種金型	航空機部品 クリン加工 新設機械ノ振付付属機械 ノ製作	機械部品 一定ノモナシ	50 1 51	10 0 10	四月一日操業開始ス	全工場 15 %ノ被害	給食ナキコトメ賃給ノ標準 決定ニ困ル 労務者用住宅キコト 交通費高キコト	
三菱重工業(株) 神戸造船所	10,000,000 7,500,000	新造船修繕船 造船主機・補機 陸上機械 鉄製品 その他	新造船 修繕船 船用主機・補機 船用送電機 その他	新造船修繕 電気ボイラー 蒸気タービン 冷却機械 その他	16,000 1,000 17,000	5,400 200 5,600	100 %	被害率 26 % 復旧率 30 %	資産ノ人手難 生産意欲減退 官庁間会及現物 ノ奪取 輸送(燃料油)ノ困難		
岡崎車体製作所	500 500	自動車車体	兵器部品	車輛部品 人造肥料製造装置部品	23 10 33	30 2 32	從来ノ作業継続中	工場ノ約70 %復旧 約50 %復旧	食糧及資材不足ノ為		
(株)前田鋳工所	1300 1300	内燃機関製造 (船用)	内燃機関製造	万能粉碎機	220 30 250	25 5 30	終戦後一般民需用品 製造二週進	全焼 現在工場建設中ナレド 資材入手困難ノタメ 復旧遅々トシテ進マズ	資材入手難		
帝國精密工業(株) 神戸工場	500 500	螺旋類 航空機部品 工具機械 兵器部品 その他	螺旋類 工作機械 その他	木工機械 タレット旋盤 紡績機械	750 120 870	253 19 272		60 % 戰後存機械ヲ 以テ操業着手中	事業資金難 労務者食糧難 副資材取専難		
尼崎地区 日本造機工業(株) 本社工場	10,000 10,000	1944年 8月創立	発動機 給水ポンプ 消防ポンプ 電動発電機 交流発電機	メリヤス織機 相誨ス電動機 空調發電機 発電機 輪胎機 製粉機 白金	1,166 230 1,396	301 49 350	転換済	被害程度 建物 50 % 新築中ナラクチラス タメ意ノ如クチラス	資金關係 資材、副資材入手難		
東和機械工業(株)	600 600	高速度直結ボーラー盤 紡績機械 部分品	高速度直結ボーラー盤 紡績機械 部品	食糧品加工機械 被損諸機械修理	241 2 243	38 2 38	適當ナル受注未ダ見付 カラズ	工場内製品庫ノ一部 焼失	資材及副資材入手難		
山陽内燃機械(株) 神崎工場	13,000 13,000	小型ヂーゼルエンジン 中型 大型	小型ヂーゼルエンジン 中型 大型	小型ヂーゼルエンジン 主要部品	1,080 145 1,225	141 4 145	100 %転換済	機械設備 37 % 建物 59 %	外注工場ノ未稼動 石炭不足 食糧不足ニヨル從業員 困難		
日本内燃機工業(株) 尼崎製造所	25,000 21,250	紡績用スピンドル ローラー	爆弾発火装置 燃料ポンプ 機関砲弾	紡績用スピンドル ローラー	600 900 1,500	111 58 169	約90台 (14 %操業) ノ 機械數ヲ運転シ主トシテ 修理等ノ生産ヲナス	ナシ	資材副資材等一部現金ヲ 請求シ又封鎖預引出困難 ナルタメ正メ修理者充足 困難		
(株)大阪機械製作所 尼崎工場	20,000 20,000	紡績機械 鋼球 鍛工機械 鋳山機械 製缶工事 その他	航空機用發造品 鋼球 鍛工機械 鋳山機械 製缶工事 噴塗製造	紡績機械 鋼球 鍛工機械 鋳山機械 製缶工事 噴塗製造	886 45 931	240 8 248	転換済	ナシ	從業員不足		

表 1-5 兵庫県・機械器具工場の現況調査（1946年4月1日現在）

地区別	会社工場名	会社資本金 折合資本金	主要生産品目		戦時中		戦時中		転換状況		戦災有無程度		生産阻害事情
			戦前	戦時中	現在	戦時中	現在	戦時中	現在	転換済	戦時中	現在	
尼崎	日立製作所 尼崎工場	700,000 431,500	起重機部品 電気機械修理	電氣機械修理	80 96	46 57	46 57	46 57	46 57	46 57	46 57	46 57	揮発油その他脂油類又総 ノ人手難労務者加配ナキタメ 作業衣入手難
(株)淨水工業所	200 200	硬水軟化機 濾過機連続缶水吐出装置 揚水機	硬水軟化機 濾過機連続缶水吐出装置 揚水機	電氣機械修理	16 5 21	28 7 35	16 5 21	28 7 35	16 5 21	28 7 35	16 5 21	28 7 35	主資材入手難 工場未完
金井重機工業(株) 尼崎工場	8,000 8,000	空機部品 トラベラー 糸道類 針 リング 削除 その他の織維製品	空機部品 トラベラー 糸道類 針 リング 削除 その他の織維製品	電氣機械修理	201 108 309	104 56 160	65%転換	65%転換	65%転換	65%転換	65%転換	65%転換	燃料不足 溶接用・焼入用酸素ノ不足
木村鉛機械工業所	2,500 2,500	蒸留機 回収機 反応機 結晶機 乾燥機 冷却機 耐酸ボンブ	小型容器 鋸張製品 21寸槽錠張 12寸車輪錠張 タンク錠張 鉛管	鉛管 鉛板	264 23 287	146 15 161	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	鉛板工場倒壊中ナレ共 諸資材不足ノタメ内需ニ ユカス 工具不足
(株)関西鍛所	500 375	鍛造車輛部品 シャッキ エンジンプロック 船艤部品	船艤部品 舷蓋バルブ シャッキ	鉄道車輛部品 機械工具 トランクター部品 ミシーニ ミシーニ メタル 家庭用機械 ミシーニ メリヤス機械 鉛管	120 50 170	105 15 120	終戦後無休	終戦後無休	終戦後無休	終戦後無休	終戦後無休	終戦後無休	石炭入手困難
東亜ペルブ(株) 立花工場	5,000 5,000	争及嘴	争及嘴	鉛管 弁及嘴	450 50 500	110 4 114	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	燃料不足 労務不足 銅輸送能力不足 特ニ木製工 仕上工
橋本機工(株)	195 195	自動車部分品	船艤用バルブ 自動車部分品	ラジオ部分品 自動車部分品	20 5 25	15 5 20	100%転換済	100%転換済	100%転換済	100%転換済	100%転換済	100%転換済	ナシ
東邦輸送(株)	1,000 1,000	エレベーター エレベーター コンベヤー	エレベーター コンベヤー	ラジオ部分品 自動車部分品	185 24 209	97 8 105	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	転換ヲ要セズ	各種資材入手難
三和特殊製鋼(株)	2,900 1,750	耐酸ボンブ セメント 耐酸機器類	耐酸ボンブ セメント 耐酸肥料 製造用耐候機器類	セメント製造用キルン 部品 耐熱特殊鋼 硫酸化肥料用 耐酸ボンブ バルブ 一般化学工業用機械	138 6 144	53 3 56	戦前ノ約35%程度操業中 ナレモ条件不備 復旧遅シ	戦前ノ約35%程度操業中 ナレモ条件不備 復旧遅シ	戦前ノ約35%程度操業中 ナレモ条件不備 復旧遅シ	戦前ノ約35%程度操業中 ナレモ条件不備 復旧遅シ	戦前ノ約35%程度操業中 ナレモ条件不備 復旧遅シ	被害程度 15万円余	事業資金抑制 如修理工資材入手難 各部門労務員不足 石炭、コーケス等燃料
尼崎精工(株) 本社製造所	10,000 10,000	信管部品 電気器具 マイクロメータ	火砲部品 信管部品 弾薬部品 電気高射機 其他	電気コンロ 配線器具 電気扇 印刷機 農耕用電動機	1,663 385 2,048	498 225 723	転換完了ス	転換完了ス	転換完了ス	転換完了ス	転換完了ス	転換完了ス	食糧封鎖セルモ大見 資材料入手難 原綫工不足 外貿部品入手難 不調

表 1-6 兵庫県・機械器具工場の現況調査（1946年4月1日現在）

地区別	会社工場名	主要生産品目		労務状況		転換状況		生産障害事情	
		戦前	戦時中	現在	戦時中	現在	戦時中	現在	生産障害事情
尼崎 (株)久保田製作所 武庫川工場	63,000 42,750	平削盤 ロール旋盤 縫縫盤 瓦斯弁 特殊弁 箕山機械 ローラー輸送	粉碎機 瓦斯弁 製水弁 製材機	現在ハ機械輸送中 ナリシタメ兎ルベキ ナリモナカリシ	114 31 145	21 8 29	386 17 403	141 6 147	機械工場へ搬入被害 ニシテ復旧作業中 物工具不足ノ取扱い不
特殊発條興業(株)	150,000 150,000	ばね ばね座金	ばね ばね座金	油入遮断器 ノ部品 車輛部品	114 55 169	61 63	100%完了	ナシ	工具不足 資材不足 燃料不足
久々知工作所	300 300	スピンドル	彌丸 貯油槽 オイルプローカー 松根釜	萬用ガス容器	246 60 306	64 8 72	完了	ナシ	水圧式工場操業ニ 対シバッヂ類ノ入手難 機械油ノ不足
大和金属工業(株)	3,000 3,000	高压ガス容器	高压ガス容器 航空機搭載用小型高圧 ガス容器 砲弾排出加工	自動車中袋空気弁 自転車中袋空気弁 地下足袋コハゼ	190 412 602	38 64 102	転換程度 80 %	被害 90 %	食糧 資材入手難
(株)池谷金属工業所	500	洋燈口金 自転車中袋 空気弁 自動車中袋	信管部品 自転車中袋 空気弁 自動車中袋	自動車中袋空気弁 自転車中袋空気弁 地下足袋コハゼ	1,029 120 1,149	42 0 42	転換ヲ要セズ	被害程度 5 %	資材(就中石炭油脂ノ入手 困難、コーキス)入手 労務者ノ充足意ノ如クナラ サルダム
日本鍛工(株) 尼崎工場	30,000 25,125	軍用部品 車輛部品 その他一般(各鎗造品)	航空機部品 ガス管部品 その他の兵器(各鎗造品)	農用部品 農用渦巻機部品 その他の型鑄造品	460 270 730	102 0 102	設備ノ50 % 復旧完了	被害程度 50 %	燃料(石炭、コーキス)入手 不足 亮掛金等ノ償還ノ足り 資材入手難
電峰工業(株) 神崎工場	6,000 6,000	各種金属切削工具 特殊鋼	各種金属切削工具 各部兵器部品 特殊鋼	各種金属切削工具 各種農工機具 特殊鋼	1,200 50 1,250	664 66 730	転換ヲ要セズ	被害 40 % 復旧程度 20 % その他 10 %	食糧ノ悪化 措置令ニヨル資金的障害 石炭入手難 従業員ノ生活難
大同製鋼(株) 尼崎工場	132,000 82,500	空爆ニヨリ書類焼失	特殊鋼 普通鋼 丸打鋼 丸打鋼丸鋼 面鋼 鉄鋼	特殊鋼 普通鋼 丸打鋼 丸打鋼丸鋼 面鋼 鉄鋼	1,200 50 1,250	664 66 730	1月10日付民營転換許可 但シタルモ石炭等、配給 航支機用部品鋼材正延 航空機用部品鋼材正延 鐵道車輛部品 機械器具 粉砕用ボル	被害ナシ 風水害ニテ多大ノ 損害蒙り	鋼材入手難 燃料配給ナキタメ生産 出来得ス
東洋鋼業(株)	500 500	鋼材正延 鋼道車輛部品 自動車自転車用部品 その他鋼造打	魚雷付属用鋼材正延 航空機用部品鋼材正延 鐵道車輛部品 機械器具 粉砕用ボル	粉砕用ボル 農機具及工具 鋼材正延 その他鋼造打	120 0 120	45 6 51	1月10日付民營転換許可 但シタルモ石炭等、配給 航支機用部品鋼材正延 鐵道車輛部品 機械器具 粉砕用ボル	被害ナシ 風水害ニテ多大ノ 損害蒙り	鋼材入手難 燃料配給ナキタメ生産 出来得ス
金井重機工業(株) 立花工場	8,000 8,000	鉄線 錆線 錆有線 其中線	鉄線 錆線 錆有線 其中線	鉄線 錆線 錆有線 其中線	184 71 255	68 17 85	60%転換済	ナシ	労務不足 副資材入手難

表1-7 兵庫県・機械器具工場の現況調査（1946年4月1日現在）

表 1-8 兵庫県・機械器具工場の現況調査（1946年4月1日現在）

地区別	会社工場名	主要生産品目		労務状況		転換状況		生産阻害事情
		戦前	戦時中	現在	戦時中	現在	戦時中	
西宮	瀬瀬機械工業(株) 西宮工場	15,000 15,000	航空機主脚 「尾脚」	ナシ	550 350 900	33 4 37	昨年9月進駐軍宿舎及接取 自動車修理工場トシテ接取 全機械設備ノ移転ノ命セラル	左記事情ニヨリ目下生産 中止中
(株)國森製作所	1,500 1,500	船舶用冷凍機 船艤修理 冷凍機	冷凍機 自販車ポンプ 電気アイロン 電気洗濯器 ハリカブ 電熱器 氷削器	106 13 119	210 36 246	本社工場 3割被害 神戸工場 10割被害 復旧済	資材及副資材ノ入手難 金融関係 食糧事情 通信交通機関ノ復旧遅延	
菅原電機(株) 作業部工事係	750 750	電気設備施工請負工事	電気設備施工請負工事	175	86	復旧、鳴尾製作所 附近二段営業中	現在ノ處ナシ	
(株)川崎電機工作所	2,000 2,000	扇風機 チエンプロック	扇風機部品 チエンプロック 送風器	460 315 775	97 24 121	被害程度 100 % 復旧程度 約 20 %	資材入手難 食糧事情ノ不安定 経済その他人心理 その原因アリ	
日本産業機械(株)	500 450	一般化学機械 酸濃加工並ニ航空機用 合成ゴム製造機器	一般化学機械 鉄道省車輛及部分品	90 15 105	50 0 50	工場一部復旧成り 工場全體敷地面積 1865.3坪	主要資材並ニ副資材ノ 入手難路ニ依ル	
川西航空機(株) 本社	60,000 37,500	本社業務	印刷 病院 工務店	3,150	281	連合軍ノ工場保全命令 ニヨリ機械施設ノ使用不能 トナリシテ画策更シ 目下申請中	賠償關係未確定ノタメ 恒久企業ニ使用シ得ベキ 場所、設備機械離脱セラルメ	
川西航空機(株) 鳴尾製作所	60,000 37,500	大型飛行機 木製プロペラ 機械部品 動力銃架その他	局地戦闘機 木製プロペラ	21,450	219	操業率 15 %	相当ノ被害ニシテ 完全ナル建築物ナシ	
川西航空機(株) 甲南製作所	60,000 37,500	中型攻撃機 大型飛行艇	米櫃 煙管 下敷 バッフル スキット 電気製塗	7,084 ○		被害 80 %	転換許可未着	
川西航空機(株) 宝塚製作所	60,000 37,500		補機部品(ポンプ類) 機械部品	14,614	178	電気暖炉、電熱器、電気 厨製造免許申請中	生糸(ママ)素材料ノ取得難 コーケス	
日本水力工業(株)	5,000 5,000	タービンポンプ 鍋巻ポンプ	タービンポンプ 鍋巻ポンプ	125 115 240	148 55 203	50 %	被災被害ハ僅少ナルモ 風水害被害ハ金額 25万円程度ニテ目下復旧 事業中	
(株)中田製作所 三田工場	1,000 1,000	鉄道車輛 (鉄道信号保安装置)	鉄道車輛 (鉄道信号保安装置)	70 45 115	95 2 97			

表1-9 兵庫県・機械器具工場の現況調査（1946年4月1日現在）

地区別	会社工場名	主要生産品目			戦時中		戦時中		転換状況		戦災有無程度		生産阻害事情
		戦前	戦時中	現在	戦時中	現在	戦時中	現在	戦時中	現在	戦時中	現在	
西宮	(株)土井正機製作所	会社資本金 払込資本金 2,000 2,000	粉砕機 製粉機 精臼機	輸送搬運機部品 上昇用機械部品 手巻上鉗機 粉碎機	粉碎機 精臼機 粉碎機	280 45 325	120 6 126	50 % 転換	50 %	全焼 復旧程度	50 %	資材、副資材入手難 輸送ノ不円滑 工具給食不足 工具支給品不足	
甲南製材工具製作所	2,500 2,500	樹材用丸鋸機 「云」鋸 丸鋸 金切弓鋸 金切弓鋸 鋸材用丸鋸	金切丸鋸機 「云」鋸 丸鋸 金切弓鋸 鋸材用丸鋸	製材用丸鋸機 「云」鋸 丸鋸 金切弓鋸 鋸材用丸鋸	189 78 267	91 25 116							
関西製作所	1,000 1,000	重板発條 自動車部品 付属品	航空機用軸受 鋼材熱処理 重板発條 自動車部品付属品	農機具 スプリング	230 120 350	68 15 83	転換完了	無					主要資材入手難 素材入手難
東京芝浦電気(株) 神戸工場	622,000	船舶用無線電信 装置修繕	漁業用無線機 拡張装置 測定器類	156 53 209	54 22 76	転換ヲ要セズ							資金面 資材入手難 労務者ノ住宅、食事情
旭工機製造(株)	712 712	貯蔵槽 家庭用厨房用品 化學器械	農機具 浴槽 厨房用品	210 20 230	156 24 180	焼失建物 6 棟							燃料不足 特二石炭
伊丹 鎧淵機械工業(株)	15,000 15,000	スピンドル ローラー トラベラー その他	航空機部品 主要部分品	スピンドル ローラー トラベラー	200 300 500	198 91 289							食糧、劣質不足 主資材(錫鉛、銅材、特殊鋼 等不足) 副資材(鋼造用コクス、石炭、 機械油ノ不足)
(株)神津製作所	4,000 4,000	紡績機械 (糸巻機械)	紡織機械 建築資材 木工機械	紡織機械 建築資材 木工機械	822 617 1,139	127 4 131	被害ナシ						資材入手不足 労務者絶食ノ危機
昭和精機工業(株)	400 400	航空機部分品	航空機用発動機部品 機体部品 整備用工具	自動車、三輪車用 トランクミッショ ン 紡織部品	231 139 370	176 5 181	被害ナシ						運転資金調達難 労務者絶食ノ危機
金井重工業(株) 伊丹工場	8000 8000	綿紡針布 毛紡針布 その他の針布	綿紡針布 毛紡針布 航空機部品 燃料槽 防弾槽	綿紡針布 毛紡針布 その他の針布	120 60 180	39 39 78	30 %	無シ					
(株)織物ディーゼル工業 伊丹製作所	750 750	堅型フライス盤 横中グリ盤	海軍特攻兵器 減速装置	ブルドーザー ミッショ ン	280 8 288	87 87	昭和21年1月11日連合軍 第一軍團司令部ヨリLG91号 ヲ以テゴリハサニシヨン ヲ連駐軍工場ヲ使用シ 居レリ						終戦後燃縄工ノ復舊 下鉄経験ノ復舊ヲ勧説 シツアリシモ充分ナル成 目下、義理ヲナシツ、アリ シテ之ヲ指揮者ノ不足ヲ來シ 居ル現況ナリ
日本精密工具(株)	2,000 2,000	輸空計器	タップ ダイス ゲージ	タップ ダイス	360 160 520	135 25 160							
三共電機(株) 伊丹製作所	120,000 120,000	無線機 配電電器 電動機 制動機	輸空無線機 航空計器 電圧計器 送配電器具 水銀整流器 電気炉溶接機 電車用電動機 溶接器	麥正器 電車用制動機 蓄電器 電解槽 送配電器具 水銀整流器 電気炉溶接機 電車用電動機 制御器	3,000 600 3,600 1,310	1,114 196 1,310	転換済	ナシ					熟練工具ノ不足 機械油、軽油、切削油 等ノ配給ナキタメ

表 1-10 兵庫県・機械器具工場の現況調査（1946年4月1日現在）

地区別	会社工場名	主要生産品目		労務状況		転換状況		生産障害事情	
		戦時中	現在	戦時中	現在	戦時中	現在	被害ナシ	
伊丹 大阪機工(株) 猪名川製造所	66,000 35,250	工作機械 電動機 陸軍砲 海軍砲 砲弾	紡織修理 電動機 航空发动機用齒車 齒車減速装置	3,600 130 3,730	760 65 825	転換機械製造及修理ノ 輸送機械製造完了シタルモ 別記登路ノタメ製造約20% 修理約90%ナリ)	従業員食料問題 輸送難 不足 資金調達難	受注額見返ニ依ル対銀行 融資方懇意請中 特ニ工場経営復活頗ヒタシ	
(株)精機工業所	1,000 1,000	齒車減速装置	齒車減速装置 齒車	568 105 673	150 0 150	転換済		資材原料ノ調達難	
伊丹産業(株) 本社工場	5,000 5,000	農具機械 紡績機械	爆弾外殼	916 221 1,137	101 15 116	20%生産品計画中ニシテ 資材部品集荷ナリ	食糧一極全燃 復旧工事実施	資材調達難 輸送困難 労務者調達難	
(株)精機工業所	1,000 1,000	齒車減速装置	航空发动機用齒車 齒車減速装置	568 105 673	150 0 150	転換済	ナシ	事業資金、特ニ新円不足ニ 依ルモノ 労務要員ノ不足 工場給食 休止	
城岩軽合金(株)	800 800	家庭器具 車輛部品 紡績器具	航空機部品 その他車輛部品	160 90 250	119 64 183	転換済	本社工場一部罹災 東京工場全燃 大阪工場全燃	事業資金ノ封鎖 燃料不足 食糧不足	
日鉄工業(株)	4,000 4,000	鍛鉄 鋳物	銑鉄 工作物及鍛正機 鋸物 船艤用アレス機	144 31 175	375 45 420	転換済	製材工場 倉庫 全焼 1棟全焼	無	
特殊産業(株) 伊丹製作所	7,000 7,000	高圧空気唧筒 航空発動機	製粉機 空気唧筒 缶切器	40 220 260	40 95 135	無		資材入手難	
月国工業(株) 神崎製作所	108,000 54,000		電車車体修理	926 642 1,568	83 24 107	50%転換	30% 復旧程度 0%	食糧二ヨリ工員ノ勤労 低下 優秀工員ノ募集難	
明石 日本工具製作(株) 第一・第二・第三工場	2,000 2,000	シャベルスコップ 農機具 土工具 ソルハシ 木柄 鋸塊	農機具 土工具 航空機部品治具 木柄 鋸塊	250 100 350	240 30 270	第3工場ハ民需ニ転換 申請中	一部罹災 復旧作業中	主要資材タルタル銅板ノ 生産低下、石炭及コーケス 入荷皆無 工具類等金融關係ニ依ル 入手難	
多木農工具(株)	300 300	シャベルスコップ 人手脱穀機 製糸機 鐵鋸 唐鋸	シャベルスコップ 人力脱穀機 製糸機 農用旋風機 木柄 鋸塊	80 15 95	90 61 151	從来ヨリノ製造品継続中	無	過資材入手困難 資材ノ入手時期ノ不適正	
大和製衡(株)	3,000 750	小型自動秤 普通台秤 特殊秤 量機 各種試験機	戦前ト同ジ	299 35 334	98 7 105	100%転換	有 40%被害 木材及筋子不足ノタメ 復旧ノ如クナラズ	資材入手難 工場關係復旧ノ不如意	
明石自動車工業(株)	180 180		自動車修理加工	25 0 25	53 1 54	100% 全焼		資材入手困難 封鎖支度タメ	

表 1-11 兵庫県・機械器具場の現況調査（1946年4月1日現在）

地区別	会社工場名	会社資本金 払込資本金	在庫	主要生産品目		戦時中 現在	戦時中 現在	転換状況	戦災有無程度	生産障害事情
				F6型デーゼル主機械 織機修理						
明石	鎌淵工業(株) 高砂造機工場	324,000 266,120	綱布	500馬力FERS型主機械 同上主復水器 織機修理	544 490 1,034	233 98 331			無	技術工具ノ不足
(株)川西機械製作所 大久保工場	38,000 26,750		通信機 真空管 其他	送信用真空管 X線管 超短波応用機器 短波送受信機	3,402 3,631 7,033	1,000 600 1,600	70 %転換済		水害ノタメ機械等ノ 被害甚シ 復旧程度 60 ~ 70 %	原材料不足 ダムクスチノ、モリアデン 燃料(石炭)不足 硝子吹込工不足
東亜金属工業(株) 魚住工場	16,500 16,500		織機機械	抜根機	450	60	進捗率 100 %	魚住工場 伸戸工場	建物 5 % 建物 100 %	コクス、カーバイド、酸素 等副資材入手難 直営資材入手難 復旧資材入手難
三木重工業(株)	3,000 3,000	車輌並部品 海軍部品	陸軍 車輌並部品 海軍部品	船艤用部品 農機具修理 機械修理 チエーダー	271 328	142 9 151	完全転換		ナシ	資材不足
(株)神戸製鋼所 大久保工場	700,182 700,182		船艤用工具類 瓦斯分離装置	切削工具類 瓦斯分離装置 (時価ニ依る肥料 製造用)	1,403 735 2,138	354 94 448	転換操業中		ナシ	工具部門ハ素村ノ入手不如意 機械部門ハカーバイド不足 転換用機器ノ備
(資)大丸機械製作所	186,000 151,000	製肥機 製紙機 織機 その他化學工業用機械	発動機分解台 瓦斯機 工具用發動機 野外用發動機 飛行機特殊器具	化學肥料機 紡績機 農機具 和洋家具 製粉機	102 58 160	58 4 62	100 %転換済		ナシ	金融関係ニテ資材入手至難
大和製鋼(株)	3,000 750	小型自動秤 普通台秤 特殊台秤 各種試験機	同左	小型自動秤 普通台秤 特殊台秤 各種試験機	299 35 334	98 7 105	転換済		被害程度 40 % 資材入手難ニテ復旧 意ノ如くナラズ	資材入手難 工場土建關係復旧ノ不如意 食糧事情
東亜金属工業(株) 土山工場	5,016 5,016	鋳合金鍛造品 鋳合金鍛造品 工作機械	軽合金鍛造品	円板ハロー 円板管 小農機 電熱器 電熱線	471 363 834	443 31 474			被害 40 % 復旧 70 %	副資材入手難 直営資材(鍍板、亜鉛) 入手難 工場土建建設資材入手難
印南産業(株)	1,200 1,200	バルブアコック ボルトナット 一般部品	バルブアコック 切換弁 航空機機体金属部品	淨化装置 バルブコック 水道用品 暖房用品	500 120 620	30 0 30				資材入手難 燃料入手難
川崎重工業(株) 二見工場	300,000 150,000	東洋紡績ヨリ劫継業	航空発動機		3,804 4,216	13 0 13	東洋紡績二工場返還 ノタメ転換セズ			神戸市内二工場全焼 加古川工場全焼
振興工業(株)	2,500 2,500	高射砲弾			750 280 1,030		専用設備三付転換出来ズ 目下休止中			
鎌淵紡績(株) 明石造機工場	2,800 2,800	織機機間 蒸氣機間	紡績機間 蒸氣機間	工場閉鎖						
田熊汽罐製造(株)	15,000 15,000	蒸汽罐 ねきち罐 八鉢罐	船用種 ねきち罐 八鉢罐	蒸気罐 つねきち罐 八鉢罐 堅型罐	1,200 1,40 1,240	394 9 403	100 %転換済	尼崎工場 播磨工場 神戸工場	被害 100 % ナシ 100 %	電圧ノ低下 コクス、油類等副資材 ノ不足 輸送ノ港漕
日本造機工業(株) 古川製作所	10,000 10,000	牽引車 牽引兵器		鐵道車輛部品 農耕機	216 112 328	272 15 287	転換済			コクス石炭 その他副資材ノ入手困難 熟練工不足
山中電機(株) 明石工場	2,000 2,000	通信機		電気製氷目下準備中	27	70 %転換済		工場一部戻り 復旧程度 80 %		

表 1-12 兵庫県・機械器具工場の現況調査（1946年4月1日現在）

地区別	会社工場名	会社資本金 千円	在庫資本金 千円	主要生産品目		労務状況	戦災有無程度	生産阻害事情
				戦時中	現在			
姫路	日本電研工業(株) 筋管工場	300 300	電動機 變圧器 電気器具製作	電動機 変圧器 電熱器具 電器部品	電動機 変圧器 電熱器具 電器部品	戦時中 40 現在 32 72	90 48 138	尼崎工場設備由ニシテ 未ダ進歩程度 20 %
(株)神戸鈎鉄所 播磨工場	3,500 3,500	鋸型並立盤	鋸型並立盤	鋸型並立盤	鋸型並立盤	戦時中 640 現在 160 800	169 222 191	戦時中ト何ラ変化ナシ
(株)國光機械製作所	1,500 1,500	船舶用補機類	船舶用3ERS型500馬力 ピストン主機械	船舶用3ERS型500馬力 ピストン主機械	船舶用3ERS型500馬力 ピストン主機械	戦時中 198 現在 99 297	14 134	物 60 % 機械 40 % 現在東開工場ノ生産 設備ヲ主体トシ復興 ノ拡充中
川西航空機(株)	60,000 37,500	局地戰闘機	金属家庭用品 自動車修理	脱落機 粗略機 農用車 粉砕機	脱落機 粗略機 農用車 粉砕機	戦時中 1,431 現在 503 791	250 438 494	保守ノ指令ヲ受ケ工作機械 ノ移動使用ヲシエズ
河部農機(株)	550 550	脱落機 中耕機 草取器 毛沢取器	舟艇部品 火砲部品	脱落機 粗略機 農用車 粉砕機	脱落機 粗略機 農用車 粉砕機	戦時中 132 現在 19 151	67 0 67	資材入手困難
(株)山木製作所	800 800	船舶用諸機械及部分品 製織用諸機械及部分品 紡績用諸機械及部分品 鐵造用諸機械及部分品	船舶用諸機械及部分品 舟艇用部分品 舟艇用部分品 舟艇用部分品	脱落機 粗略機 農用車 粉砕機	脱落機 粗略機 農用車 粉砕機	戦時中 132 現在 19 151	67 0 67	主材料の入手難 熔解用ノコーケンノ入手難 カーバイドノ手難 マシン油等ノ入手困難ニシテ
青木製作所	800 800	船舶部品 土木建築 鋼架 鐵塔	軍、商、船舶内燃機部品	船舶部品 農用機械器具	船舶部品 農用機械器具	戦時中 150 現在 10 160	46 2 48	燃料不足 材料不足
家島内燃機(有)	114.5 114.5	船舶用内燃機閥製作修理	船舶用内燃機閥製作修理	船舶用内燃機閥製作修理	船舶用内燃機閥製作修理	戦時中 10 現在 10 10	24 0 24	電動力、燃料、食糧、 作業衣不足
山本電機工業(株)	120 120	船舶用發電機 配電盤	船舶用特殊スイッチ 電機新規加工 船用発電機 船用充電機 配電盤	電動機修理 無線修理 船用充電機 電機部品加工 製塗用諸機械	電動機修理 無線修理 船用充電機 電機部品加工 製塗用諸機械	戦時中 110 現在 16 126	47 5 52	全焼 復旧程度 三種ノ内 二種竣工
(株)尾上機械製作所	500 500	製塗用諸機械	製塗用諸機械	開閉器 家庭用電熱器 農用電動機 溶接機 磁気選別機	開閉器 家庭用電熱器 農用電動機 溶接機 磁気選別機	戦時中 69 現在 71 1,501 1,014 2,515	80 0 80 80 1,483 1,158 1,641	ナシ (特ニ労務者加給米ノ欠如) 資材購入二際シ現金不足
東京芝浦電気(株) 網干工場	622,000 466,500	直流發動機 配電盤 電気炉	直流發動機 配電盤 電気炉	開閉器 家庭用電熱器 農用電動機 溶接機 磁気選別機	開閉器 家庭用電熱器 農用電動機 溶接機 磁気選別機	戦時中 130 現在 145 145 145 145	68 8 76 30 30	職工主食ノ欠乏 特殊鋼ノ不足 前資材及石炭ノ不足
日本機械製鏡(株) 播磨工場	1,500 1,500	鏡鏡付属品	海軍用爆弾	鏡鏡付属品	鏡鏡付属品	戦時中 2,457 現在 2,217 2,674	30 30 30	昨年9月米軍二度攻取セレ 土地建物全滅失ヒタリ 依而日本大陸軍造兵廠 白浜製造所ニ于テ民需 転換スベク申請中
シェアリー産業(株) 播磨工場	4,500 4,500	鋸型定盤	定盤	鋸型定盤	鋸型定盤	戦時中 640 現在 160 800	175 31 76	左ノ通りナレバ記入 スベキ事項ナシ
(株)神戸製鉄所 播磨工場	350 350	新造船 修繕艦船	新造船 修繕艦船	新造船 修繕艦船	新造船 修繕艦船	戦時中ト設備ノ他変化 無	無	コーケス不正ノ為
(株)播磨造船所 (松浦工場ヲ含ム)	6,000 3,750	新造船 修繕艦船 その他の 主機補機 缶、その他	新造船 修繕艦船 その他の 主機補機 缶、その他	新造船 修繕艦船 その他の 主機補機 缶、その他	新造船 修繕艦船 その他の 主機補機 缶、その他	被害程度 10 %	主要資材、補助材料等ノ 不足 主食、副食物ノ不足	

表 1-13 兵庫県・機械器具工場の現況調査（1946年4月1日現在）

地区別	会社工場名	会社資本金 折込資本金	主要生産品目			戦時中 被災状況	戦時中 被災有無程度	生産障害事情
			戦前	戦時中	現在			
豊岡	豊岡重工業(株)	198 198	舞鶴工廠受注品	大阪鐵道局アレキ シユニード車輛部品 鋸先及一般工具 魚吊り重り一般工具	30 9 39 36	33 3 36	100 %	無
郡是工業(株)	23,667 23,667	生糸 副糸	木製航空機輔助翼	製糸機械 家具類	90 320 410	75 200 275	100 %	無
郡是工業(株) 八鹿工場	23,667 23,667	生糸	航空機部品	製糸機械部品 鋼、ナイケ 洗面器 弁当箱	663 1,292 1,955	99 92 191	65 %	資材不足 主食配給ナキタメ
八鹿鉄工(有)	90 90	小農器具 (鉄その他)	吳海軍工廠電氣部品	小農器具 (鉄、備中その他)	53 21 74	49 5 54	無	粗材入手難 燃料不足
但馬鉄工(株)	1,980 1,980	各種機械器具 製作組立修理	発動機分解台及ビ 航空機部品 船舶部品	農器具(鉄、鍛 除草機等) 各種機械器具 製作組立修理	70 9 79	66 2 68	100 %	金融措置令ニヨル事業資金 払出難並諸物資購入難 カーブイド入手難 資材輸送難
但馬造船(有) 津居山工場	196 196		標準型計画木造船	漁業用發動機船 並農業用小舟艇	56 2 58	32 0 32	無	食糧事情ノ逼迫ニ依 農漁等或甚度ノ自給自足 ヲ目シ久勤者続出 高長時間ノ作業二耐又能率 低下
武田化機器製作所	850 500	耐酸耐熱特殊機器 耐酸耐食器	陶製手榴彈 耐酸熱化學磁器 井	電気器具 配線器具 和食器	45 18 63	32 0 55	無	封鎖現金入手不可能 地方銀行支店ノ行キスヰ指置
西脇	東播映工(株)	198 198	航空機 整備兵器	農機具 家庭用品 一般機器 修理加工	90 30 120	55 0 55	無	事業資金ノ不回済 資材ノ入手難 外埠品入手難
播磨工業(株)	180 180		計器部品 發動機部品	家庭器具 農機具 池上コクネット 一	33 14 47	36 12 48	100 %	主資材及比副資材ノ入手 困難ノタメ生産稍や不充分
東洋電機(株) 石生工場	2,000 2,000	綿織物	1943年12月迄綿織物 44年1月より綿電磁開閉器		20 96 116	40 12 52	完	材料入手ルートノ不明 資材難
(株)大島製作所	198 198	紡績錠 木鉢	BA底板 機関銅部品	ベルトハンマー 研子機	24 48	26 33	転換歩進中ナルモトタメ 資材1千手困難ニ至ラズ	材料入手ルートノ不明 資材難 資材及副資材ノ入手困難 ナリ及資金化出来ザル タメ生産障害ス
川崎航空機工業(株) 北條工場 (播州南車製作所)	300,000 300,000	秋田製織会社ニ依り 織布業	航空牽引機用齒車 機関車用齒車 漁船用齒車 農機具用齒車	紡織機用齒車 自動車用齒車 機関車用齒車 漁船用齒車 農機具用齒車	2,020 504 2,524	69 4 73	転換二台可セラレタル 機械設備ハ90 %整備完了 セ)	各種油類及燃料入手至難 住宅ノ不足
大興通信機(株) 社工丁場	198 198	鉛蓄電池装置及部品 電話機交換機及部品 有線無線通信機及部品	船艤無線通信機及部品 電波器箱体及部分部品 建屋用戸単その他生活 必需品	鐵道用通信機保安装置 及部品 通信機及部品 建築用戸単	215 186 401	63 11 74	100 %運転中 大坂本社工場戦災 ニヨリ全焼	主要資材ノ入手不能ノ為ニ 二ヶ月後ノ操業見込ナシ 副資材ノ入手不能 労務者不足

表 1-14 兵庫県・機械器具工場の現況調査（1946年4月1日現在）

地区別	会社工場名	主要生産品目		労務状況		転換状況		生産障害情 況
		戦前	戦時中	現在	戦時中	現在	転換率	
西脇	山陽利器(株)	播州鍛 機械鍔 皮革ナイフ	播州鍛 機械鍔 皮革ナイフ	播州鍛 機械鍔 皮革ナイフ	1,257 298 1,555	1,730 119 1,849	80 %	無
	田中美吉製作所 金星工場	各種鉄 木鍔 池の坊鍔 丁鍔	鉋	剪定鍔 木鍔 功鍔 丁鍔	45 20 65	40 20 60		主要資材及副資材ノ 入手困難
	東洋電気(株) 成松工場	2,000 2,000	配電盤 変圧器 箱開閉器	電気コノロ 電気アイロン 二層スイッチ 刃型開閉器	174 851 1,025	134 95 229		資材入手難 外注部品輸送難 加工遅延
	藤井鉄工所	200 200	紡績機装置製作	船舶用内燃機部品 航空機部品	15 0 15	15 0 15	5割	無
	丹波産業(株)	400 400	建設中	自走車部品 自動車部品	59 65 124	111 24 135		食糧問題 燃料、切削油
	菅国精密工業(株) 野村工場	5,000 5,000	無	粉砕機 脱穀機 押麦機 運搬車	235 60 295	166 10 176	65 %	金銭 復旧見込み
	洲本	淡路産業(株)	2,000 2,000	中島車輪 手動車輪 航空兵器 その他の兵器	紡績機部品 工作機械部品	321 215 536	170 6 176	生産程度 65 %
		淡路製鋼(株)	180 180	支那ドブ貝 木鉗 椰子鉗 貝鉗	木鉗 椰子鉗 貝鉗	67 230 297	57 176 233	戦災ヲ蒙ラズ 無
	三和製作所		工業用ミシン部品	工業用ミシン部品	47 23 70	15 5 20	転換済	無
	日本柳箇製造所	180 180	電動ボンブ 電動機修理	汎用電動ポンプ 精米機 農機具	85 3 88	80 %		高級資材主 ド貝等輸送販 通手困難
	九添工業(株) 洲本工場	160 160	電気配線器具	電気配線器具	70 150 220	46 61 107		コーケスノ不足 本社ハ全焼セルモ 工場ハ異状ナシ

Materials on the Trajectory of Machine Factories during and after the Pacific War: In the Case of Hyogo Prefecture

Minoru Sawai

It is well known that machine factories that were manufacturers of civilian goods in prewar period, were mobilized to the production of military goods during the war, then again were obliged to reconvert to the civilian products after the war. However, it is difficult to totally perceive the trajectory of machine factories during and after the war in certain region, though we can grasp the real situation of individual case by means of the company history.

Materials in this paper could partially highlight a difficult task in the contemporary economic history. These materials are compiled from *Kōjō Genkyō Chōsa* (Survey on the Situation of Factories, edited by the Department of Commerce, Industry and Economy of Hyogo Prefectural Government, 1946). In the following tables based on this survey, the trajectory of 169 machine factories in Hyogo prefecture during and after the war is shown.